

## 協働のまちづくり ～町内一日清掃～

町内一日清掃が12月6日、町内一斉に行われ、道路や集会所のゴミ拾いや草刈、側溝の清掃など早朝から多くの住民の方々が清掃に参加しました。みなさんのご協力により、町はきれいになりました。ご協力ありがとうございました。



▲多くの方々のご協力  
“ありがとうございました”



## 県学校体育優良校を受賞 ～南条小学校～



南条小学校は、平成19～21年度の3年間、山武教育研究会体育部会の指定校として「一人ひとりが生き生きと取り組む体育学習のあり方」をテーマに研究が進められました。このたび研究課題が評価され11月20日に開催された県学校体育研究大会で「学校体育優良校顕彰」に輝きました。

## 中学生と搾油 地元産ヒマワリから ～梅里坂田環境保全会～

坂田地区の「梅里坂田環境保全会」では、農地・水・環境向上対策事業の一環として耕作放棄地を利用したヒマワリや菜花などの景観作物の栽培を行い、地域環境の保全とともに多くの方々の目を楽しませています。今年度は地域の方々や地元の中学生も参加して咲き終えたヒマワリの後片付けや種の収穫を行いました。収穫に協力した中学生とともにヒマワリの種からしぼった油の利用方法を皆で考え実践し、楽しむことにより地域の連携を深め、環境保全に取り組みました。



▲環境を通じて世代交流

## 大きなサケに感激！ ～サケ捕獲見学会～

### 大きなサケを 次々と捕獲



▲ずっしりと重い雄サケ



▲漁業組合長の説明

今年も栗山川に大きく育ったサケが帰ってきました。10月中旬から遡上が始まり、千葉県知事から特別採捕許可を受けた栗山川漁業協同組合により捕獲作業が開始され12月中旬で、約580匹の回帰が確認されましたが、実際にはもっとたくさんさんのサケが上流へ遡上したと思われるそうです。

栗山川のサケ捕獲見学会は、学習の一環として子供たちはもとより一般の人々にも自然の尊さを学んでもらおうと開催され、応募のあった6校の児童と一般の方が参加しました。捕獲会を見学した児童は、勢いよく跳ねるサケを目の前にして驚きと歓声を上げていました。1月には里親事業として希望者及び小中学校へサケの受精卵を配布。3月まで飼育して稚魚の放流を行います。